

## 災害に備えた、産学官民の連携拠点

三重大学地域圏防災・減災研究センターは、三重県および県内市町などの行政や企業、地域の方々や連携して、三重県の防災・減災に関する人材育成や活動支援、研究の実践と成果の社会実装、災害医療支援などを実施しています。同時に三重県と共同で「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」を運営し、また東海圏の5つの国立大学の防災関連センターとともに「東海圏減災研究コンソーシアム」を運営するなど、南海トラフ巨大地震に備えた広域の連携体制を構築しています。



防災・減災活動を担う人材育成の様子

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震とこれにともなう津波の被害は、私たちのこれまでの防災・減災に関する取り組みや考え方を根底から問い直す、非常に大きなインパクトを持ったものでした。震災後早くも3年が経過しましたが、復旧復興の道筋は未だに不明確で、国をあげての取り組みが必要とされています。そして、私たちが暮らす三重県は南海トラフ巨大地震により、大きな地震の揺れと津波による被害が想定される地域です。

そのため本学はこれまでも三重県と連携して、三重県の防災・減災活動を担う人材の育成プログラム「美し国おこし・三重さきもり塾」の運営や、三重大学自然対策室による行政・企業・地域での防災・減災活動の支援、研究の実践と成果の社会実装などを行ってきました。2013年には、「三重大学地域圏防災・減災研究センター（三重大学自然対策室を改組）」を立ち上げ、大学における防災・減災に関する教育や研究に関しての成果の集約と、三重県とのより充実した連携体制を構築してきました。

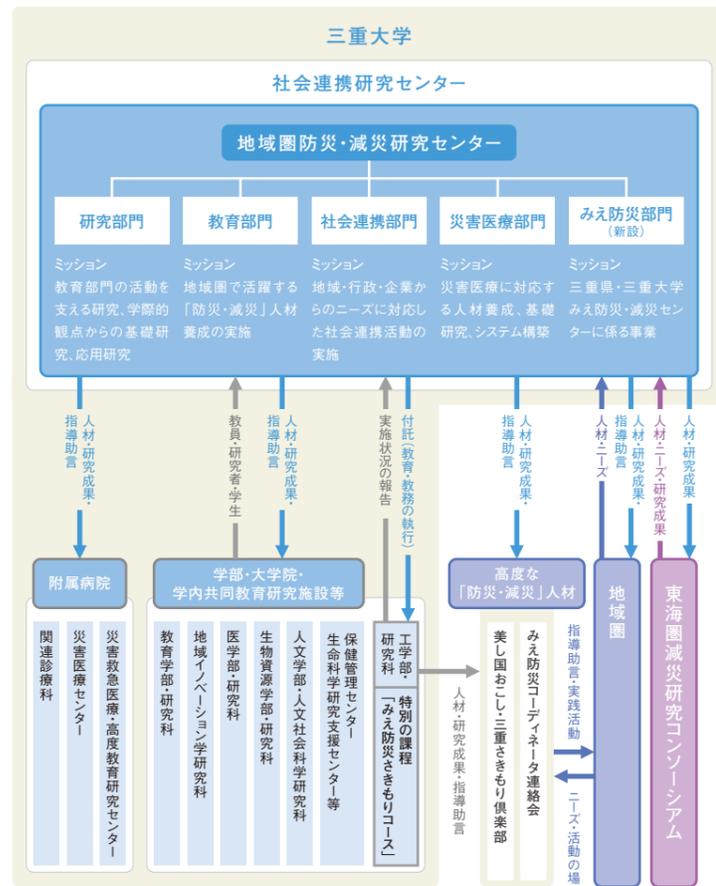
こういった活動に引き続き、2014年4月には全国に先駆けした先進的な取り組みとして、大学と三重県が共同でミッションを推進する新たな組織「三重県・三重大学 みえ防災・減災センター」を発足させ、このセンターの大学側のエンジン役を「三重大学地域圏防災・減災研究センター」が担っています。

こういったセンターでの活動を通じて、三重県の防災・減災に貢献することで、南海トラフ巨大地震や台風などの風水害による被害の軽減を目指していきます。

また、東海圏の5つの国立大学（名古屋大学、名古屋工業大学、豊橋技術科学大学、静岡大学、岐阜大学）の防災関連センターとともに、「東海圏減災研究コンソーシアム」を組織して、一つの大学、一つの学問領域では成し得ない課題解決に向けて取り組んでいます。

### 三重大学地域圏防災・減災研究センター

お問い合わせ先 TEL：059-231-9858 FAX：059-231-5486



三重大学における防災・減災に関する研究・教育・社会連携の実施体制

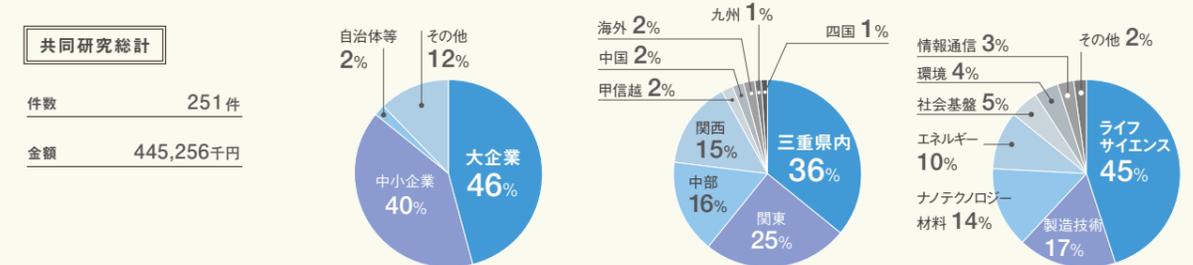


三重県・三重大学の共通するミッション

## 三重大学の研究と研究活動を通じた社会との連携

三重大学は教育と研究の成果を社会に還元するために、産業界や地域の公共団体との共同研究等の連携活動を推進しています。大学は、この連携によって、地域の文化の向上や活性化に貢献していきたいと考えています。

### ◎平成25年度共同研究の分類



### ◎平成26年度大型研究(1,000万円以上の共同研究、受託研究)

事業名	研究題目	契約相手方	学部等名	研究代表者名
戦略的創造研究推進事業	マグネシウムイオンを用いた電気化学デバイス創成のための電極/電解質界面設計	独立行政法人 科学技術振興機構	工学研究科	松井雅樹
平成26年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業	高効率バイオ燃料生産に向けたセルロース再構築微生物の基盤研究	農林水産技術会議	生物資源学研究所	三宅英雄
風力等自然エネルギー技術研究開発	風力等自然エネルギー技術研究開発/風力発電高度実用化研究開発/10MW超級風車の調査研究(要素技術)	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	工学研究科	前田太佳夫
新エネルギーベンチャー技術革新事業	新エネルギーベンチャー技術革新事業(バイオマス)/未利用柑橘類を活用したバイオ燃料生産の技術開発	独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構	生物資源学研究所	田丸浩
戦略的創造研究推進事業	エクソン全領域関連解析による心筋梗塞発症に関連する機能的遺伝子多型の固定	独立行政法人 科学技術振興機構	生命科学研究支援センター	山田芳司
復興促進プログラム(産学共創)	廃棄海苔スフェロプラスト飼料を用いた二枚貝・ナマコの共棲養殖システムの開発	独立行政法人 科学技術振興機構	生物資源学研究所	吉松隆夫
戦略的創造研究推進事業	海馬神経回路形成と可塑性の発現における形態学的解析	独立行政法人 科学技術振興機構	医学系研究科	溝口明
戦略的創造研究推進事業	有用フィケミカル活用のための大型褐藻類対応プラットフォーム技術の開発	独立行政法人 科学技術振興機構	生物資源学研究所	柴田敏行
草の根技術協力事業(草の根協力支援型)	フィジー共和国カウ島統合的開発支援事業:南太平洋しあわせ島づくり協力支援	独立行政法人 国際協力機構	生物資源学研究所	吉松隆夫
戦略的創造研究推進事業	電池特性評価と充放電機構の検討	独立行政法人 科学技術振興機構	工学研究科	今西誠之
平成26年度 先天性代謝異常等検査事業	先天性甲状腺機能低下症に関する調査・研究	三重県	医学系研究科	駒田美弘
平成26年度 先天性代謝異常等検査事業	先天性副腎過形成症に関する調査・研究	三重県	医学系研究科	駒田美弘

(2014年4月現在)

### ◎平成24年度共同研究

[件数による順位]

順位	法人名	共同研究件数	順位	法人名	共同研究件数
1	東京大学	1,412	11	神戸大学	325
2	大阪大学	935	12	大阪府立大学	315
3	京都大学	933	13	筑波大学	311
4	東北大学	831	14	信州大学	298
5	九州大学	685	15	千葉大学	291
6	東京工業大学	515	16	三重大学	259
7	北海道大学	499	17	早稲田大学	240
8	慶應義塾大学	492	18	名古屋工業大学	237
9	名古屋大学	461	19	東京農工大学	233
10	広島大学	360	20	金沢大学	227

[金額による順位]

順位	法人名	共同研究受入額(千円)	順位	法人名	共同研究受入額(千円)
1	京都大学	6,649,822	11	早稲田大学	723,170
2	東京大学	5,066,682	12	筑波大学	690,769
3	東北大学	3,083,868	13	東京理科大学	620,063
4	大阪大学	2,834,841	14	神戸大学	610,148
5	九州大学	2,214,697	15	広島大学	598,977
6	慶應義塾大学	1,684,452	16	千葉大学	483,618
7	東京工業大学	1,527,945	17	三重大学	422,484
8	名古屋大学	1,447,911	18	東京農工大学	422,290
9	北海道大学	1,034,390	19	信州大学	415,250
10	名古屋工業大学	957,680	20	大阪府立大学	359,158

(文部科学省HPデータより)